

ギニア月報（2026年2月）

主な出来事

【内政】

- 4日、第二次ウリ・バー内閣成立、閣僚名簿発表。
- 10日、コナクリ中央警察署で、アブバカール・ジャキテ（通称トゥンバ）を移送する際に、現場関係者間で発砲事案が発生。
- 20日、国民議会・地方議会選挙の日程が5月24日に決定。

【外交】

- 14-15日、ドゥンブヤ大統領がアディスアベバで開催された第39回アフリカ連合サミットに出席。また、ギニアにアフリカ鉱業開発センター（Centre africain de développement minier）が設置されることが決定。

【経済（開発協力含む）】

- 4日、米国で開催された重要鉱物に関する閣僚会議にブナ鉱物・地質大臣が出席し、米国と重要港物に関する協定を締結。
- 5日：令和7年度対ギニア草の根・人間の安全保障無償資金協力「トゥゲ第2小学校校舎・トイレ・井戸整備計画」に係る署名式を実施。
- 16日、加藤駐ギニア大使がナベ計画・国際協力・開発大臣を表敬訪問し、二国間関係強化について意見交換。

1 内政

- ・ 4日、第二次ウリ・バー内閣成立、閣僚名簿発表。
- ・ 9日、ドゥンブヤ大統領は、各省庁及び事務局の権限を定めた大統領令に署名。
- ・ 10日、コナクリ中央警察署で、アブバカール・ジャキテ（通称トゥンバ）を移送する際に、現場関係者間で発砲事案が発生。
- ・ 20日、国民議会・地方議会選挙の日程が5月24日に決定。
- ・ 28日、「近代化と発展の世代（GMD）」運動は総会を開き、党の創設については、ドゥンブヤ大統領の帰国以降と改めて確認。

2 外交

- ・ 14-15日、アディスアベバで開催された第39回アフリカ連合サミットにドゥンブヤ大統領が出席。また、ギニアにアフリカ鉱業開発センター（Centre

africain de développement minier) が設置されることが決定。

3 経済（経済協力含む）

- ・ 2日、JICAの岩間アフリカ部長が計画・国際協力・開発省のスマ次官を往訪し、プロジェクトの進捗状況及びインフラ分野での課題等について意見交換。
- ・ 4日、米国で開催された重要鉱物に関する閣僚会議にブナ鉱物・地質大臣が出席し、米国と重要鉱物に関する協定を締結。
- ・ 5日：令和7年度対ギニア草の根・人間の安全保障無償資金協力「トゥゲ第2小学校校舎・トイレ・井戸整備計画」に係る署名式を実施。
- ・ 10日：バー首相はフランス大使及びAFD所長と、経済、農業、教育、インフラ、都市交通に関するギニア・フランス間の戦略的パートナーシップについて協議。
- ・ 16日、加藤駐ギニア大使がナベ計画・国際協力・開発大臣を表敬訪問し、二国間関係強化について意見交換。
- ・ 22日、ECOWAS投資開発銀行（BIDC）の代表団がギニアを訪問し、優先プロジェクトへの資金提供に関する協議を実施。
- ・ 27日、ギニアと米国は、2026～2030年の保健関連プログラムに資金供給するための戦略的協定に署名。

（了）